

League communication EHIME

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 植岡 道玄

連盟通信 えびめ

ご挨拶

会長 植岡 道玄

今年、平成23年も残り少なくなりました。立冬を過ぎても気候的には暖冬で過ごし易いのですが、寒さが足りないのか山々の紅葉は今ひとつといったところです。

会員の皆様には日頃より看護連盟にご支援いただきありがとうございます。

一年間を振り返りますと、例年のことではありますが総会後の活動事業として、新規入会者研修が東中南のブロックごとに開催されました。また県別・支部長会をはじめ新規にリーダー

セミナーが県・本部共催でも行われ、連盟活動に初めて参加された方もおられました。

今年は若手の会が初めてのイベント、「ポリナビワークショップ in 愛媛」を主催しました。若者らしい発想でコミュニケーション作りとして盛会裏に終えたことで今後に期待したいところです。

私達の看護連盟は確かな看護の政策実現力を持って政治活動をすることで、次期参議院選に向け素晴らしい候補者を擁立したいと考えています。

今年一年を無事に終える喜びに感謝し、来年は更に躍進できますよう、皆様のご多幸をお祈りいたします。

よいお年をお迎え下さい。



霜月に咲く皇帝ダリア

受賞おめでとうございます

春の叙勲

瑞宝双光章

二宮 由美子 様 (元松山赤十字病院看護部長)

秋の叙勲

瑞宝単光章

真鍋 邦子 様 (元住友別子病院看護部長)

人を大切にする社会、働くことを楽しいと思える社会、明日に希望が持てる社会づくり

Vol.23-9 平成23年11月21日発行

やりがい、いきがい。たかがい！～成熟社会を創る看護力～ たかがい恵美子のマンスリー活動報告

参議院議員 高階恵美子事務所

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館714号室

TEL03-6550-0714 Fax 03-6551-0714

<http://www.takagai-emiko.net>

参議院本会議にて代表質問（11月2日）

11月2日、野田内閣総理大臣の所信表明演説等に対する代表質問に立ち、総理の政治姿勢を問いただすとともに、人口政策、復興政策の課題に関して、現政権にしっかりと認識頂き、遅きに失することなく取組みを進めてほしいとの思いを込めて、質問しました。

【総理の政治姿勢】

東日本大震災は、国民に深い傷を与え、社会に説明しがたい動揺と変化をもたらしていると考えられます。自殺、児童虐待など、命の危機を受け止めるとともに、どのような方針で臨むのか質問しました。

【人口政策】

わが国の総人口は今後7割程度まで減少し、中でも生産年齢の減少がすすむということを念頭に置いた、新たな“成熟社会づくり”を、今この時期に推し進めなければなりません。総理が人口問題をどう捉え、どう対応するのか表明するよう求めました。

その上で、地域の子育て拠点の強化・拡充、母体の保護と女性の健康づくり、出産を巡る環境改善、最期まで穏やかに過ごせる環境整備の必要性を提起し、ライフステージを通じた必要な施策の取組みへの決意を求めました。

また、7月に政府において「税と社会保障の一体改革案」がとりまとめられましたが、増税の議論が先行していることについて、まずは新たな社会保障体系の具体像を示すべきであると問いました。

【復興政策】

現政権の復興政策が遅すぎ、未だに被災者の生活再建の見通しが立っていないことは憂慮すべき事態です。復興予算を早期に執行し、実効性の高い施策を実現すべきです。第3次補正予算の年度内執行を確約するよう求めました。

また、復興庁及び被災自治体の職員の確保の見通し及びその対策について、被災地の小規模事業の支援について、社会保障の担い手の確保とその労働環境の改善に対する方針について質問しました。



代表質問の様子は「たかがい恵美子チャンネル」よりご覧になれます。
<http://www.youtube.com/user/TakagaiEmiko>

「かあさんの家」視察（宮崎県）

11月3日、宮崎県にある「かあさんの家」2か所（曾師及び月見が丘）を視察させていただきました。

「かあさんの家」は、最期まで住み慣れた地域、家に近い環境で暮らせることを目指して作られたホームホスピスで、先駆的な看取りの取組みの一つです。施設は住宅街の中にある民家で、我が家に帰ってきたような家庭的な雰囲気を感じさせてくれました。それは何より入居者を温かく見守る家族のようなスタッフの存在が大きいのでしょうか。このような家庭的な雰囲気の中で最期を看取することができる環境整備が全国で進むよう、取組んでまいります。

「ふるさと対話集会」（宮城県、青森県）

自民党では「ふるさと対話集会」を全国各地で開催し、自民党国会議員が地域の方々の「なまごえ」を聞かせて頂いています。10月17日に宮城県、11月6日に青森県を訪問させて頂き、参加者が日々の暮らしの中で感じている声を直接お伺いすることができました。頂戴したご意見の一つ一つを胸に刻み、暮らしを守るための政策実現のために、これからも誠心誠意努めてまいります。

「たかがい恵美子Official Web Site」リニューアル！

双方向の情報交流を目指して、「メッセージボックス」、「ご当地ナース情報」等のページを設けました。ご意見、メッセージ、情報提供等、どうぞ奮ってご投稿ください。

あべ俊子国政活動ニュース

いのち・くらし
いちばん!!

あべ俊子



最近の主な出来事

8/12(金)～15(月)

地元活動

8/23(火) シンポジウム「これからの認知症ケアを考える」

政党討論に自民党代表として出席

8/24(水) 衆議院文部科学委員会視察

青森県六ヶ所

(核廃棄物リサイクル処理施設)

8/25(木) 尊厳死法制化を考える議員連盟(事務局長)
～日本医師会との意見交換会

セカンドハウス“ここさくらんしょ” in 福島 訪問

8/27(土)～28(日)

第10回 アジア太平洋地域エイズ国際会議
(ICAAP10)

9/2(木) 自民党社会保障制度に関する特命委員会

9/13(火)～30(金)

第178回 臨時国会開会

「東日本大震災被災3県看護連盟支援対策
会議」 in 仙台市

9/15(木) 「日独友好議員連盟」訪日議員との朝食会
駐日ドイツ連邦共和国大使との意見交換会

9/16(金) 順天堂大学看護医療学部インターンシップ
4年生

9/21(水) 茨城県看護連盟国会見学 64名

9/26(月) OECD超党派勉強会

9/27(火) 富山県看護連盟国会見学 36名

9/28(水) 茨城県第5選挙区 石川昭政氏応援

10/4(火) 厚生労働省レク

～「医療の質の向上に資する無過失補償制
度のあり方に関する検討会」について

10/4(火) 衆議院法制局レク

～ワクチンの無過救済制度(仮)の検討に
ついて

10/6(木)～13(木)

政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関す
る特別委員会

「フランス
及び英国に
おける選挙
制度実態調
査」議員団
として渡
仏・渡英



説明を聴く日本議員団

10/18(火) 長野県看護連盟 国会見学 94名

群馬県看護連盟 国会見学 44名

10/19(水) 党厚生労働部会

「震災後の経済戦略に関する特命委員会へ
の報告」

タバコ販売政治連盟・東中国支部主催議員
の会

10/20(木) 千葉県看護連盟 国会見学 56名

新潟県看護連盟 国会見学 37名

衆議院「倫理選挙特別委員会」

衆議院「青少年問題に関する特別委員会」

10/21(金) 衆議院「文部科学委員会」

衆議院「厚生労働委員会」

10/25(火) 「青少年問
題に関する
特別委員
会」で質疑
児童ポル
ノ、性教育
について



衆議院厚生労働委員会で質疑

「消費者問

題特別委員会」で質疑

消費者庁、生活センター統合の件

10/26(水) 「厚生労働委員会」で質疑

年金制度改革、タバコ税について

「財務金融委員会」で質疑

社会保障番号の進捗、クラウドについて

10/27(木) 福島県看護連盟 国会見学 39名

11/1(火)～2(水)

日本看護サミット '11 in 福岡

分科会Ⅳ「看護職の働き方維新」座長

11/8(火) 愛知県看護連盟 国会見学 76名

自民党看護問題小委員会

11/9(水) 衆議院予算委員会

米国製薬業工業協会 (PhRMA)面会

11/10(木) 衆議院予算委員会 (TPP集中審議)

超党派「放課後児童クラブ(学童保育)」の
抜本的拡充に関する議員立法勉強会

米国メルク社・米国ジョンソン・エンド・
ジョンソン社と面会

ODA援助効果 公開シンポジウム

「震災を通して見えてきた援助課題から考
える

～質の高い援助の実現に向けて コメント
ーター

新規入会者研修に参加して

報告

今治地区

済生会今治病院 南條 慎也

6月7日(火)、看護連盟今治支部主催による「新規入会者研修」が有りました。

研修の場所は、今治市朝倉にある「タオル美術館」でした。

研修には、当院や済生会今治第二病院、県立今治病院、希望の園から計25名集まりました。

研修の前半は、「看護連盟の意義」について話がありました。話してくださったのは、若手会員、済生会今治病院の三谷ちひろさんでした。内容は、①看護協会と看護連盟の役割、②看護連盟存在の意義、③これまでの活動についてでした。私たちの年齢に近い人で若手会員からの話であったため、看護連盟をより身近に感じることができました。

グループワークでは、前半の話を聞いて所属する職場の課題を出し合い、解決のためには自分達が連



盟会員として今後どのように行動すればよいかを話し合いました。

今回の研修は、同じ学校の卒業生が他の病院から参加しており同級会のような感じもあり、楽しく身になる研修でした。今回の研修をきっかけに看護連盟の会員としての自覚をもって行動したいと思います。

新居浜・西条地区

十全総合病院 三並 涼介

今回、連盟による新規入会者研修に参加させていただきました。先輩看護師の方々が、看護連盟に関するクイズや、パワーポイントでの説明をしてくださり連盟の働きを知ることが出来ました。私たち看護師の代表を政界に送り出すことにより、私たちの意見が国会に届き、看護師の地位向上や、労働環境が改善されてきたのだと分かりました。今後、ますます働きやすい環境を得るため



にも、専門職業人として、一社会人として選挙には必ず投票に行こうと思いました。



中予地区



今回看護連盟の研修に参加させていただきました。今回の看護連盟の研修での目標は、看護連盟や若手の会の活動について理解し、一人ひとりが看護連盟の推進力になることでした。

実際に研修に参加して、看護連盟はどのような目的で誕生したのか、また看護協会の提言する看護政策実現のためには国政・地方議会に代表を送る必要があることが分かりました。そして、私たちの選んだ代表議員が看護問題の解決を政策決定の場で進

松山赤十字病院 長谷川和貴

展させるための政治活動を行っていることも分かりました。実際に活動の内容を聞かせていただいて、看護師として働いている中で看護問題が生じたときに、私たちだけで解決できる問題とそうでない問題がある事を知りました。問題を解決していくためには、看護について知っている人をどんどん政界に代表として送らなければ、いつまでも問題を解決できないと改めて考えさせられました。今の私たちにできることとしては看護連盟についてもっと関心を持ち、どのような活動を行っているのかを知り、選挙があれば投票に行くことだと思いました。

今回看護連盟の研修に参加させていただいて、今まで看護連盟について全く知らなかったのですが、看護連盟についての目的・活動について知り、今の私たちは何をしたら看護連盟の活動に協力できるのか知ることができたので、看護連盟についてもっとよく知り、政治活動にももっと関心を持っていけるようにしたいと思いました。

南予地区

私は、現在の病院に就職して一年目のナースです。就職した時看護連盟への入会を勧められ、勧められるがままに入会しました。そのため看護連盟とは何なのか、どのような活動をしているのか、全く理解していませんでした。

今回の研修会に参加して、同じ現場で働く者同士が普段思っている事、考えている事を言い合い、私だけが思っていたのではない、みんな同じ様に思い

考えていたのだと分かり、少し安心しました。

しかし、その場だけで満足したのでは、私達の職場は



西予市立宇和病院 浅井由佳子

何も変わらないし、むしろ環境は悪くなる一方なのかもしれないという現実も、つきつけられました。



夜勤回数が多い上に手当てが少ない、スタッフが足りない、サービス残業が多い、精神的苦痛もある、など意見はたくさん出ました。

看護連盟のかかげる「ベッドサイドから政治を変える」とは、この様な私達現場のスタッフの声を私達の組織代表者に送り、私達がより良い環境で、より良い看護を提供していける様にしていくのが看護連盟なのだと分かりました。

楽しく充実した研修を受ける事ができ、今では看護連盟に入会して良かったと思っています。

リーダーセミナーに参加して



愛媛労災病院 山根 千春

日本看護連盟の竹澤常任幹事を講師に迎え、県内68人のリーダーが参加しました。午前中のグループワークでは現場の声を、法律をつくる事のできる国会議員や委員会へ提出する「要望書」にまとめました。年齢や立場の違う8名のグループでしたが、教育の立場からは新卒時の実際の能力と現場で求められる能力のギャップについて、臨床現場からは指導する中堅ナースの労力の大きさからくるモチベーションの低下、それらが離職に繋がることをテーマに日ごろのうっぶんも手伝って、活発に話ができました。

午後からはリーダーとして次の参議院選挙の活動について話し合いました。今年の選挙の数字を細かく分析し、愛媛県の獲得目標は7千票だと学びました。若い方に参議院比例代表選挙の投票方法をしっかり説明し、看護師から一票も逃さないように頑張りたいと思います。

愛媛県立中央病院 山内美由紀

去る11月6日(日)、看護連盟リーダーセミナーが松山市三番町「コムズ」で開催され、参加しました。

今回の研修では、「看護現場を改善すべき内容を国会議員に要望してみよう」というテーマでグループワークしながら、要望書の作成体験を行いました。その中で、子育てと仕事の両立に苦労したと

いうメンバーの話がきっかけとなり、「同じような苦勞をさせたくない、若い人達の離職を防止するためにも、子育て支援の充実を要望したい」という熱意のこもった活発な意見交換ができました。

専門職としての看護職を守り育成していく事で、人々の健康回復に貢献する大きな使命を連盟が担っている事をアピールしていくことが大切だと再確認できました。

また、連盟活動に関心のない若い会員にも、結婚、家庭、子育てなど関心のもてるテーマで、熱意をもって行動できるリーダーを目指し努力していきたいと思います。

愛媛県立南宇和病院 古谷こずえ

リーダーセミナーに参加して、看護連盟の役割から看護政策、またリーダーシップについて講義がありました。現場の声が届くまでには、政策に長い期間を要し多数の関係部署や人材が関わっている事を知りました。

また、法律でしか解決できない問題もある事から看護に理解ある議員を送る必要性があることを感じました。1人1人の小さな力を集めるためにも、連盟活動を理解して思いを伝え、賛同を得られるような活動をしたいと思います。

グループワークでは、1つのテーマを持って意見を出し合い、他の病院での実情などを聞きながら要望書を作成しました。小さなところから声が届き、看護の労働環境の改善に繋がればと思いました。



ポリナビワークショップ in 愛媛

若手の会東予ブロック長 三谷ちひろ

平成23年11月19日(土)に、いよてつ会館において第1回ポリナビワークショップ in 愛媛を開催しました。県内外から約70名の会員に参加して頂きました。

開催にあたり若手の会内でプロジェクトチームを結成しました。何度も話し合いを行い、参加者に楽しんでもらえるように企画・運営を考えました。

第1部は、ケアプロ(株)代表取締役の川添高志先生をお招きし、ご講演を頂きました。「ワンコイン健診の挑戦」と題して、健診弱者を救うために起業した事や、理念を持って仕事をする事の大切さを教えて頂きました。講演を通して、川添先生の社会貢献に対する熱い思いが伝わってきました。

第2部ではグループワークを行いました。「幸せマニフェスト」と題して、“どうしたら今より仕事がんばれるか”というテーマで話し合いを行いました。党首決定・マニフェスト作成から投票まで、グループワークをしながら選挙と同じ形をとることで、より選挙を身近に感じてもらうことができたと思います。また、グループワークを行うことで、他の病院の人との交流にもなり、活気のある研修会となりました。

今回の研修を行った経験を生かして、今後の活動を行っていきたいと思います。ポリナビに参加・協力して頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



「東日本大震災から学ぶこと」に参加して

鬼北町立北宇和病院 惣谷 和子



平成23年10月29日、愛媛県看護連盟会員研修会に参加しました。石巻赤十字看護専門学校 森岡薫先生には「実際に被災者として救護者としての体験」について、また松山市消防局 防災対策課災害対策指導監 鳥生幹雄先生には「災害で命を無くさないための方策」について講演いただきました。

今回の東日本大震災は、誰もが想定外という言葉を目にする大きな災害でした。実際にこの大震災を体験していない私にとっても、その体験談から多くのことを学ぶことができました。

第1に自分の身を守る判断力・知恵を持つということ、第2に災害に対する想定外から備えを行うことです。そして私達には医療従事者として看護師として、人々を守るという使命があります。そのためには、看護の基本的な知識と技術で的確な判断のもと、様々な職種との連携で、いつでもどこでも行動できる力を持たねばなりません。被災者の救済を真に受け止め、災害時の備え・防災訓練の定期的な実施など、実際に行動することが重要だと考えます。



ちょっといい話

済生会今治病院

看護師 大河美由紀

済生会今治病院は、しまなみ海道が望める場所にあります。5月には外来・病棟部門が新築移転され、現在新しい病棟で看護しています。新病棟には患者さんに安全で安心できる看護を提供するために多くの部分を改善しました。一つ目はコンピューターナースコール機能の充実です。セントラルモニターとナースコールを連動させたことで、アラーム



が鳴った時はどこにいてもナースコールPHSが作動し、すぐに患者さんのそばにかけつけることができます。また、ナースコールに呼び出し理由が表示されることで、患者さんからも「トイレコールが恥ずかしくない」と好評です。

二つ目は各病棟に全介助入浴ストレッチャーの設置です。患者さんの希望に合わせて日時関係なく、入浴することができるようになりました。

三つ目は病棟食堂で患者さん同士と一緒に食事がとれるようになったことです。眺めのいい景色を見ながら食事をとることで、食欲も増進しています。現在、管理棟の改築工事中ですが、来年の夏には全館改修が終了する予定です。新しい建物になったからではなく、済生会今治病院の看護がいいから入院したいと言われるように、日々頑張っています。

愛媛県看護連盟支部別会員数

	H22	H23/10末
今 治	415	394
西 条	411	427
新 居 浜	868	766
小 計	1,694	1,587
中 予 1	1,392	790
中 予 2	428	407
中 予 3	124	121
中 予 4	91	94
中 予 5	167	145
中 予 6	398	387
中 予 7		657
教 育	54	50
小 計	2,654	2,651
南 予 1	369	352
南 予 2	412	415
南 予 3	152	155
小 計	933	922
合 計	5,281	5,160

看護連盟入会のご案内

看護連盟の目的

看護協会の目的達成のために必要な政治活動を行い、あわせて国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。

看護連盟の活動

看護職の政治力強化に関する活動

看護職組織代表の国政進出と支援に関する活動

年会費

8,000円

(内訳 日本看護連盟:5,000円 愛媛県看護連盟:3,000円)



一人の会員が連盟を知らない一人を誘って会員の輪をひろげ、明るく楽しい活動をすすめましょう

編集後記

今年も残り少なくなりました。

今年度はポリナビ in 愛媛など新しい企画もあり、楽しい活動ができました。

連盟通信えひめにも快くご協力ありがとうございました。

来年もよろしくお願いいたします。

League communication EHIME

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 植岡 道玄

連盟通信 えびめ

ご 挨拶

会 長 植岡 道玄

今年、平成23年も残り少なくなりました。立冬を過ぎても気候的には暖冬で過ごし易いのですが、寒さが足りないのか山々の紅葉は今ひとつといったところです。

会員の皆様には日頃より看護連盟にご支援いただきありがとうございます。

一年間を振り返りますと、例年のことではありますが総会後の活動事業として、新規入会者研修が東中南のブロックごとに開催されました。また県別・支部長会をはじめ新規にリーダー

セミナーが県・本部共催でも行われ、連盟活動に初めて参加された方もおられました。

今年は若手の会が初めてのイベント、「ポリナビワークショップ in 愛媛」を主催しました。若者らしい発想でコミュニケーション作りとして盛会裏に終えたことで今後に期待したいところです。

私達の看護連盟は確かな看護の政策実現力を持って政治活動をすることで、次期参議院選に向け素晴らしい候補者を擁立したいと考えています。

今年一年を無事に終える喜びに感謝し、来年は更に躍進できますよう、皆様のご多幸をお祈りいたします。

よいお年をお迎え下さい。



霜月に咲く皇帝ダリア

受賞おめでとうございます

春の叙勲

瑞宝双光章

二宮 由美子 様 (元松山赤十字病院看護部長)

秋の叙勲

瑞宝単光章

真鍋 邦子 様 (元住友別子病院看護部長)